

平成30年度 学校だより (第19号)

木立見 こだちみ

校訓 ～ 強く 正しく 美しく ～



平成31年3月8日発行

発行者 出口 伸雄

足利市立西中学校 62-2230

平成30年度学校課題：自他を尊重し、互いに高め合う生徒の育成（3年目）

明日は、3年生152名にとって、新しい船出となる第60回卒業式です。卒業生は、部活動・コンクール・作品展で様々な賞を受賞し、多数の県大会出場を果たすなど輝かしい結果を残しました。また、修学旅行では、京都・奈良の歴史と文化に触れ、感動し、仲間と協力して行動する中で、良き思い出を作りました。創立六十年記念文化祭では、記念Tシャツを着て、六十年の思いと伝統を伝え、新たな歴史を刻みました。合唱コンクールでは、クラスの仲間と協力し合い、一人一人の固い絆をのち、永遠に心に響くハーモニーを奏でました。思い出は尽きません。西中生としての誇りを忘れず、感謝と夢をもって、巣立ってほしいと思います。



各種表彰式・記念品贈呈式～3年間の功績を讃える～

3月1日（金）、PTA会長「秋山成之 様」にご臨席いただき、卒業にあたり、中学校3年間の功績をたたえ、後輩たちへの励みとするために、各種表彰式・記念品贈呈式を行いました。PTA会員の皆様、記念品をいただき、ありがとうございました。

- ◇足利市優良青少年 3年女子1名
- ◇体育運動優良生徒 3年男子1名
3年女子1名
- ◇栃木県中体連有望選手 3年女子1名
- ◇栃木県中体連優秀選手 3年女子2名
- ◇栃木県バスケットボール協会優秀選手 3年女子3名
- ◇地区中体連優秀選手
 - ＜陸上＞ 3年女子1名
 - ＜野球＞ 3年男子1名
 - ＜剣道＞ 3年女子1名
 - ＜卓球＞ 3年男子3名、3年女子1名



- ＜バスケットボール＞ 3年女子5名
- ＜バレーボール＞ 3年女子3名
- ＜ソフトボール＞ 3年女子4名
- ＜サッカー＞ 3年男子1名
- ＜水泳＞ 3年男子1名
- ＜バドミントン＞ 3年男子2名、3年女子5名

- ◇東関東吹奏楽連盟賞 3年女子1名
- ◇栃木県吹奏楽連盟賞 3年女子11名

- ◇足利市教育委員会記念品（ボールペンセット）贈呈 生徒代表：3年男子生徒
- ◇西中PTA記念品（クリアファイル）贈呈 生徒代表：3年女子生徒

西中同窓会式～卒業生152名が入会！

卒業式に先立ち、2月28日（木）、同窓会入会式を行いました。卒業生152名が新たに加わり、会員数は、15,180名となりました。西中同窓会長「小林貴浩 様」からは、入会にあたっての祝辞をいただきました。また、卒業生の代表生徒から、西中学校同窓会の会員としての誇りをもっていききたいという入会の誓いの言葉がありました。西中同窓会は、昭和34年4月1日に発足し、61年目を迎えます。社会の第一線で活躍している先輩方を見習い、相互に助け合い、共に人生を語りあえる、大切な絆にしてほしいと思います。



予餞会～音楽・演技鑑賞 & 3年間のメモリー～



3月1日（金）、1・2年生から3年生に感謝の気持ちを込め、予餞会が行われました。前半は、足利大学附属高等学校「崎山省二先生」の指揮で、足利大学附属高等学校吹奏楽部と足利短期大学附属高等学校吹奏楽部による感動的な演奏と足利短期大学附属高等学校バトン部のレベルの高い演技を披露していただきました。生徒たちは、一体感をもって喜びを体全体で表現していました。後半は、入学時からこれまでの様々な行事から、3年生の思い出いっぱいの「3年間のメモリー」を鑑賞しました。3年生は、思い出を振り返り、爆笑したり涙ぐんだり、とても感動していました。最後に、在校生代表生徒から3年生への送る言葉が、卒業生代表生徒から感謝の言葉がそれぞれ述べられました。

家庭教育応援ナビ～子育て相談Q & Aから～

Q 何事にも反抗する子ども～最近、中学生の子どもが親に反抗してばかりいます。以前は素直な子どもでしたが、急に変わってしまいました。どのように対処したらよいのでしょうか。

A このような子どもの反抗は、思春期を迎えたことによるものです。この時期の子どもは、体はもちろん、心もこれまでと大きく変化し、劣等感や自己嫌悪の感情、社会や大人に対する不信や矛盾、正義感などを感じ始めます。このような意識が「反抗」という形で表れるようになります。多くの親は、「この頃変わってしまった」と不安を感じますが、子ども自身も乱暴な言動を取る自分に驚きと後悔を感じています。反抗は子どもに「自分も大人」という意識を形成するために必要なプロセスでもあります。戸惑うこともあるかと思いますが、子どもの言動を冷静に受け止め、過剰な反応は避けることが大切です。また、この時期は、社会的なルールを身に付けさせることに関心を向け、親としての愛情は残しながらも、子どもの発達を見ながら、優しさと厳しさのバランスが取れた向き合い方を心掛けましょう。

Q 人間関係のトラブルで欠席する娘～中二の娘が、部活動の人間関係に悩み「部活をやめる、学校も行かない」と言って、学校を欠席し始めました。家での生活も不規則です。このまま不登校になってしまうのか心配です。

A 家族は娘さんにとって温かく、安心できる存在でありたいものです。まずは、保護者が本人の悩みや寂しさを丁寧に聴き、受け止めることが大切です。娘さんも思いを話すことで、友達とどうありたいのか、親の助けが必要なのか、先生に力になって欲しいのかなど、自分の悩みを整理し、きちんと向き合うことが次第にできるようになります。保護者は娘さんに寄り添いながら一緒にできることを考えましょう。また、学級担任や部活動の顧問など、学校の関係者と連絡を取り合いながら、娘さんの人間関係を見守り、安心して学校生活を送れるように環境を整えることも必要です。家族の温かさを基盤に、保護者や学校、本人が、それぞれにできることを確認し力を合わせて、娘さんの心のエネルギーを徐々に回復させていきましょう。

3月11日14時46分に黙祷し、東日本大震災の犠牲者に哀悼の意を表してください。

＜栃木県PTA連合会から「とちぎPTA新聞198号」の訂正とお詫びについて＞

◆シンボルマーク優秀賞受賞者所属校名の誤り（5ページ目3段目）：臼井千春さんの学校名
優秀賞（誤）宇都宮市立陽南中2年（正）宇都宮市立陽東中2年